

# 全国学力・学習状況調査について

全国的な学力調査に関する専門家会議

令和3年3月22日

山形大学  
三浦登志一

# 全国学力・学習状況調査の意義

## (1) 学力の状況の継続的な把握

□自校の小学6年生／中学3年生について知る

## (2) 全国の児童生徒への結果の周知

□一人一人の子供たちが自分の学習状況について知る

## (3) 「活用」のイメージ形成への支援

□習得・活用・探究      B問題で具体的なイメージをもつ

# 学校における活用状況

## (1) 学校研究等のPDCAサイクルに活用

□学力等の課題把握をしたり成果について評価したりする

## (2) 学力に関する評価問題や教材等への影響

□入試問題や教材等に〔B問題〕的な仕組みが増えている

## (3) 学習評価の研修での活用

□解答例を先生方で評価してみる取組もある

## 調査問題の作成に際しての工夫

### (1) 学習したことを評価することができる問題

□指導事項に沿って、付けたい力が付いているかを確認する

### (2) 授業との結び付きがイメージできる問題

□授業改善が進むように、設定や学習過程を意識した

### (3) 記述する力を評価することができる問題

□「答え」よりは「考え」が表現されることを目指した

## 今後に向けた期待 – CBT化を契機として

### (1) GIGAスクール構想の推進に向けたアイデア提供

- 実践例が少ない現状に具体を通して情報提供する
- 調査問題と授業との結び付きをさらに強める

### (2) 学習評価の改善の後押し

- 子供たちの解答データを実際に評価できるようにする
- 評価についての考え方・実例を提供する